

1 教科について

国語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

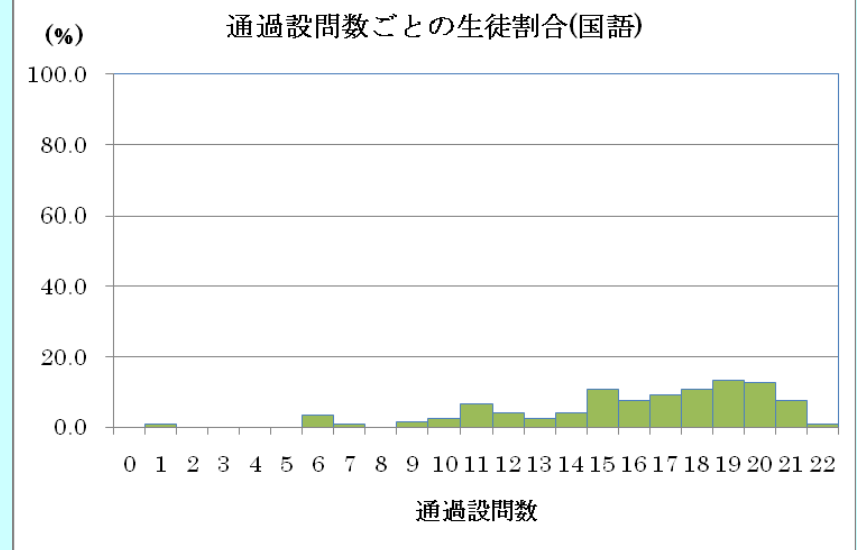
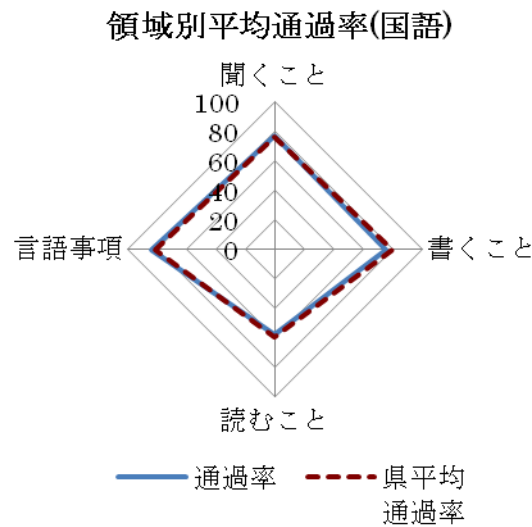
昨年度の課題

- ①「聞くこと」の力の育成  
「意見を支える理由をとらえる (通過率 52.6% 県より-22.9%)」が低い。
- ②「書くこと」の力の育成  
「意見を支える適切な理由を書く (通過率 41.4% 県より-19.4%)」が低い。
- ③B問題「二つの表現に共通した面白さについて自分の考えを書く (全国より-9.0%)」が低い。

昨年度の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- ①聞き取りテストを月に一回実施した。
- ②「聞く」「書く」の学習で、理由を求める設問を適宜取り入れた。
- ③文章の内容や表現の仕方をとらえ、自分の考えを書く学習を取り入れた。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 73.0% 県平均 73.2%



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査  
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎文章の展開に即して、登場人物の心情を的確にとらえることに課題がある。  
(通過率 21.0% 県より-6.5%)
- ◎文章の中心の部分と追加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てることに課題がある。  
(通過率 37.0% 県より-5.5%)
- ◇・・・

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①文学的文章の指導において、会話文、行動、表情など、登場人物の心情が表れる視点を明確にさせ、その叙述に即して心情を考える指導を継続する。その際、心情が表れているところに棒線を引きさせるなど、全体で意見を交流し考えを深めあう工夫をおこなう。
- ②文章の構成や論の展開を明確にする指導をおこなうために、段落分けや段落と段落の関係・つながりを図式化して書かせる工夫をする。

来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率の学校平均を県平均より高める。
- 「文章の展開に即して、登場人物の心情を的確にとらえる」について通過率40%以上にする。
- 「文章の中心の部分と追加的な部分、事実と意見などを読み分けて、文章の構成や展開を正確にとらえ、内容の理解に役立てること」について通過率50%以上にする。

# 指導方法等の改善計画について

## 数 学

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

### 昨年度の課題

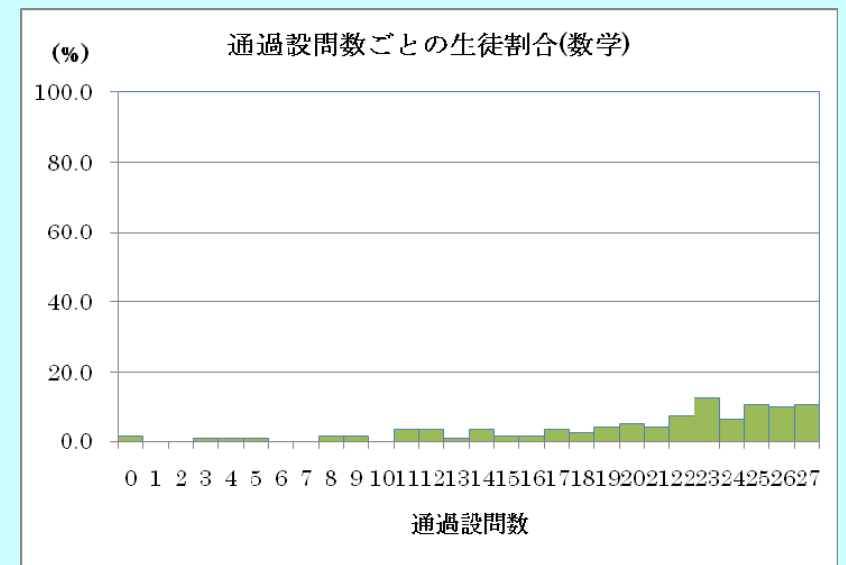
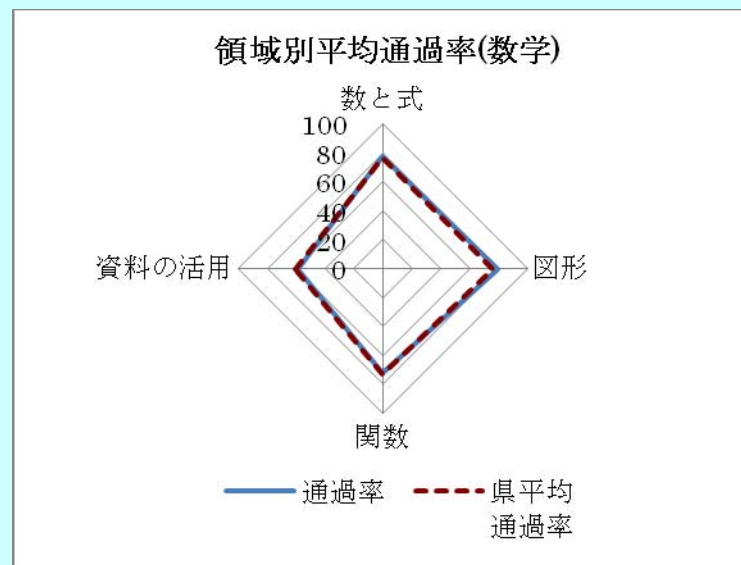
- ① 「数と式」の力の育成  
「1次式の減法 (67.2% 県より-10.5%)」が低い。分配法則の間違いによる誤答が多い。
- ② 「数量関係」の力の育成  
「グラフから比例の関係を読み取る (56.0% 県より-7.6%)」が低い。無回答が高い。(21.4%)
- ③ A問題「確率の意味の理解 (全国より-13.3%)」が低い。
- ④ B問題「与えられた証明を読み、そのしくみを考える (全国より-11.2%)」の正答率が低い。

### 昨年度の課題を受けて

#### 具体的に取り組んだ事項

- ① 基本的な計算力をつけるため、授業では小集団での教え合い活動を積極的に取り入れ、計算過程を説明させる場面を設定した。家庭学習による計算練習を充実させた。
- ② 数量関係について、実験・観察を通して1次関数の関係を考える活動を取り入れた。
- ③ 確率の意味について、観察や実験などの活動を通して、体験的に理解できるようにした。
- ④ 証明の学習において、根拠としてどのような性質や関係が用いられているか、結論を導くためにどのような条件や根拠が用いられているかを確認する活動を取り入れながら、証明を読み、その仕組みをとらえることが出来るようにした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **75.8%** 県平均 **74.7%**



**重点課題** ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査  
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ 「図形」の力の育成  
「垂直な面 (通過率 52.9%)」が低い。立体図形を辺としては見ることが出来ているが、面として見ることが難しい。
- ◎ 「資料の活用」の力の育成  
「相対度数の意味 (通過率 31.1% 県より-5.5%)」が低い。相対度数の求め方が定着していなかった。また、計算時の位どりでミスが目立った。

◇・・・

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 図形分野に関しては、空間における直線と平面、平面と平面の位置関係をとらえる力が不十分である。空間図形の基礎の復習を、実験・観察を通してペアやグループで意見を交流し、考えを深め合う工夫をおこなう。
- ② 資料の活用分野に関しては、相対度数の求め方が定着していなかった。教科書の教材だけでなく、各自気になる資料を見つけ、資料を整理させるなど指導を工夫する。

### 来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率の学校平均を県平均より高める。
- 「基礎・基本」定着状況調査で、「数と式」の分野で全ての平均通過率を80%以上にする。

# 指導方法等の改善計画について

## 英語

### 昨年度の課題

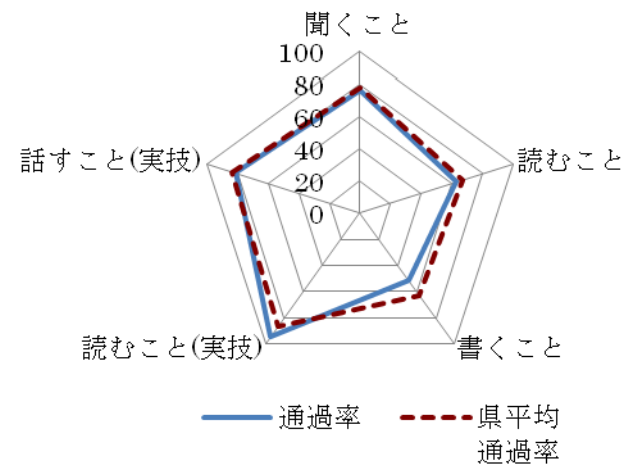
- ①一般動詞の疑問文で do, does の使い分けが十分に理解できていない。(通過率 27.6%)(県より-2.8%)
- ②this や疑問視の用法が十分に理解できていないため語順が定着していない。(通過率 50.0%)(県より-5.3%)
- ③初歩的な表現を用いてつながりを考えて英文を書くことができない。(通過率 36.2%)(県より-9.7%)

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

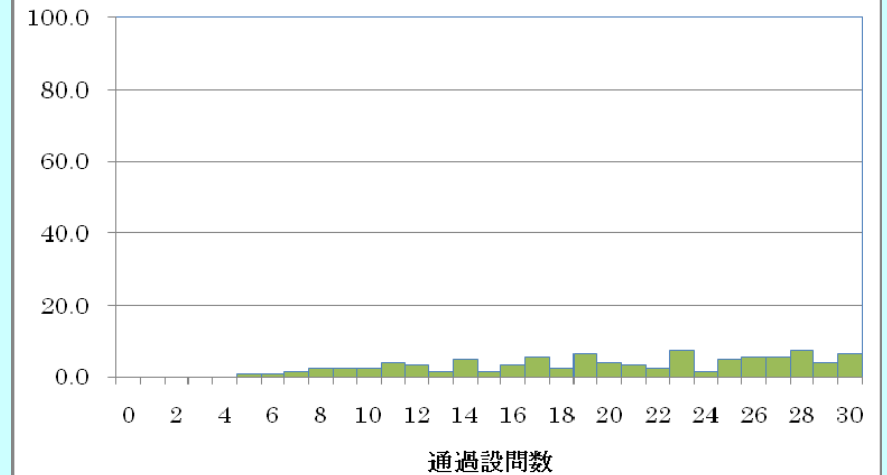
- ①一般動詞の疑問文において、どの助動詞(Do, Does の判別, Can など)を使用するか、その答えと理由を答えるドリル学習を授業の最初に毎回行った。
- ②語順を定着させるために基本文を覚え、イラストを見せながら、語を変えるパターンプラクティスを行った。
- ③「主語+動詞+目的語」という基本的な文を使い題材を変え、英文を書く練習を行った。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **67.3%** 県平均 **71.9%**

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎ 「話の流れを理解する力」に課題がある。代名詞が何を指しているのか十分に理解できていない。(通過率 38.7% 県より-15.3%)
- ◎ 「指示代名詞(this や that)の用法」を十分に理解できていない。(通過率 43.7% 県より-23.9%)
- ◇ . . .

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

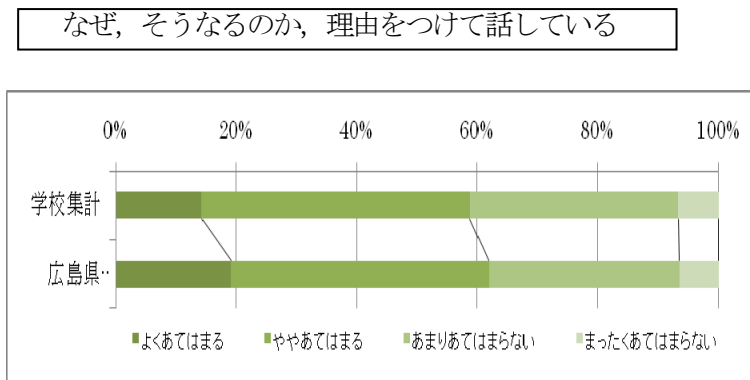
- ① 教科書の本文や短い話の中で、代名詞が何を指しているのかを問う。小集団活動を仕組み、教え合い学習を取り入れる。
- ② 指示代名詞の説明と、それを使用した書き換えのドリル学習をおこなう。

### 来年度の目標値

- 「基礎・基本」定着状況調査で、通過率の学校平均を県平均より高める。
- 「基礎・基本」定着状況調査で、「話の流れを理解し、的確に読み取ることができる」の分野で通過率 50%以上にする。
- 「基礎・基本」定着状況調査で、「this の用法について知識があり、this を用いて簡単な文を書くことができる」の分野で通過率 70%以上にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，生徒質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，生徒質問紙）

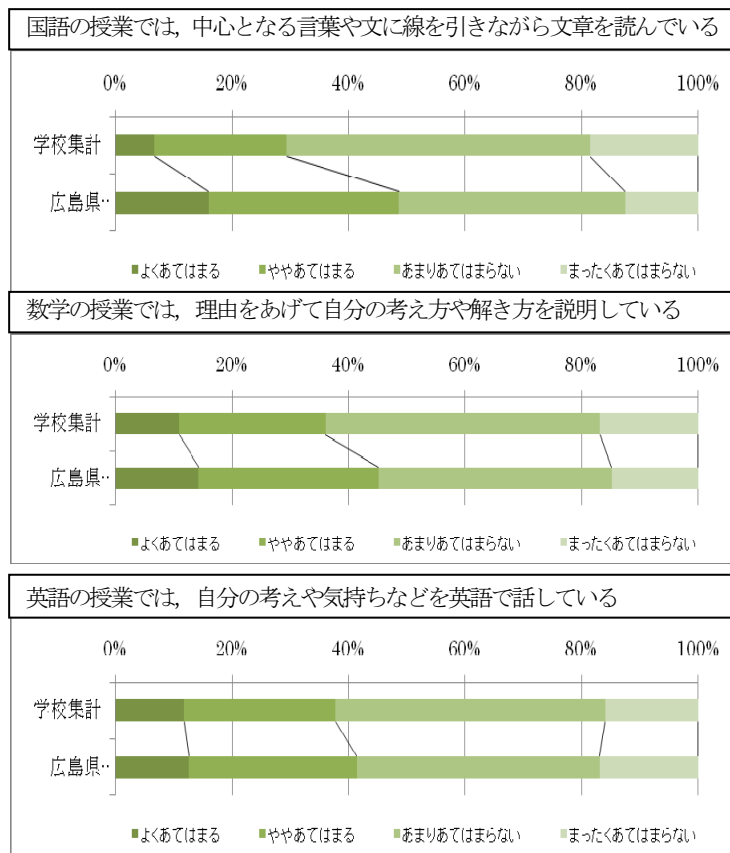
(1) 生活・学習



改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎「なぜそうなるか，理由をつけて話している」の回答が58.8%（県より-3.2%）と低い。 ◎「家で本や資料などを利用して学習している」の回答が39.5%（県より-5.0%）と低い。 ◎「ふだん家では1日1時間以上勉強している」の回答が36.2%（県より-8.1%）と低い。 ◇・・・	○授業において，設問のし方を工夫し，根拠に基づく発表の仕方を指導する。 ○朝読書を継続すると共に，授業において新聞記事や学校図書を活用していく。 ○宿題と自主学習（1日1ページ）の内容について指導し提出させると共に，家庭学習時間を毎日記録させる。

来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふだんの家庭学習時間が1時間以上の生徒を50%以上にする。</li> <li>・「読書活動」の領域において肯定的回答を県平均以上にする。</li> <li>・「表現力」の領域において肯定的回答を県平均以上にする。</li> </ul>

(2) 教科



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎「国語の授業では，中心となる言葉や文に線を引きながら文章を読んでいます。」の肯定的回答が29.4%（県より-19.2%）と低い。 ◇・・・	・登場人物の心情が表れているところに棒線を引き，全体で発表することで視点を明確にした読み取りをする。
数学	◎「数学の授業では，理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。」の肯定的回答が36.1%（県より-9.1%）で質問項目の中では，最も低い。 ◇・・・	・ペア・グループ活動を用いて，考えを発表する機会や他人に表現する機会を設ける。解答や考えを発表する際，テンプレートを準備するなどし，表現力を高める。
英語	◎「英語の授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。」の肯定的回答が37.8%（県より-3.6%）で質問項目の中で，最も低い。 ◇・・・	・新出文法の学習時に自分の考えを表現する活動を取り入れる。また，単元のまとめとして，自分のことをまとめた英文で表現する機会を設ける。

来年度の目標値	目標値
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国語の授業では，中心となる言葉や文に線を引きながら文章を読んでいます。」の肯定的回答を50%以上にする。</li> <li>・「数学の授業では，理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。」の肯定的回答を50%以上にする。</li> <li>・「英語の授業では，自分の考えや気持ちなどを英語で話しています。」の肯定的回答が50%以上にする。</li> </ul>

指導改善のための実施スケジュール

